

次の文を完成せよ。

数直線上で、  
ある数を表す点と  
原点との**距離**を  
その数の  
[ ] という。

**+1** の絶対値は [ ]

**-2** の絶対値は [ ]

**0** の絶対値は [ ] だ  
す。

絶対値が等しくて  
符号の異なる 2 つの数を  
互いに他方の  
[ ] を変えた数  
と言います。

「同じ符号の 2 数の和」

の**符号**は、常に

2 数と [ ] であり、  
絶対値は

2 数の [ ]  
となります。

異なる符号の 2 数の和

の符号は  
[ ] の  
大きい方の符号となり、  
絶対値は、  
絶対値の大きい方から

小さい方を引いた [ ]  
となります。

同じ符号の 2 数の**積**

の符号は  
常に [ ] の符号です。

異なる符号の 2 数の積  
の符号は

常に [ ] の符号です。  
いくつかの数の

**積の符号**は

負の数の個数が  
**奇数**の時は [ ]、

負の数の個数が  
**偶数**の時は [ ]、  
となります

正誤問題

違っている時は  
違っている例を示せ。

ある数を 2 倍すると  
いつも大きくなる。

2 数の和の絶対値は  
それぞれの数の  
絶対値の和に等しい。

## 2つの数

A, B があって,

Aが, Bより大きいとき

2つの数と0との関係

すなわち,

A, B, 0の

3つの数の関係を,

例えば

$A > 0 > B$ のように,

不等号を使って示しなさい.

ア

和も積も正のとき



イ

和も積も負のとき

積が負であるから

A, Bの符号は異なる.

また,  $A > B$ であるから,

Aが正, Bが負.



ウ

和が正で  
積が負のとき



エ

和が負で  
積が正のとき



左の問題の例として

適当な数の例を挙げなさい

イ

A =

B =



ウ

A =

B =

エ

A =

B =



エ

A =

B =

次の表は、A、B、C 3人の

### 各回の合計点を 0 点として

それぞれの点を  
正負の数で表したものである。  
表を完成させなさい。

	1回	2回	3回	4回	合計
A	-10	+5	+7		+7
B	+7	-7		-2	
C			0	-3	

下の表は

A、B、C 3人の得点を  
基準点との差で表したものである。  
ただし、  
基準点より高い点数を正の数、  
基準点より低い点数を負の数で表す。

	1回	2回	3回	合計	平均点
A	+4	+2	+1	+3	+10
B	-2	-3	-1	-7	-13
C	-1	+1	-1	+1	0

点数の開きが最も大きいのは  
どれとどれか。

3人の平均点は  
基準点と比べてどうか。

基準点が75点のとき、  
3人の平均点は何点か。

下の表は

A、B、C 3人の得点を  
平均点との差で表したものである。  
ただし、  
平均点より高い点数を正の数、  
平均点より低い点数を負の数。  
としている。

	第1回	第2回	第3回	合計点	平均点
A	-10	+5	+7		+4
B	+8	-6		-4	-8
C	+4		-1	+1	+7
合計点	234	234	198	195	

点数の開きが  
最も大きいのはどれとどれか。

A,B,C 3人の  
それぞれの平均点は  
何点か。

	A	B	C
平均点			

自然数,整数,分数どうして加減乗除を行ったとき,  
和差積商がその数の範囲に

必ずある場合は○印, 無い場合がある時は×印  
をつけ, 次の表を完成せよ.

数の種類 \ 四則	加法	減法	乗法	除法
自然数				
整数				
分数				
	和	差	積	商

次の文を完成させなさい.

自然数は負の数を含む  の一部分.

は分母を 1 とする分数と考え, 分数の一部分.

四則演算について,

は

加法・減法に先立つことは,  
負の数の場合も成り立つ.

次の表は,  
タテ・ヨコ, ナナメ共に  
和が一致する魔法陣です.  
10以下の整数または分数で  
完成させなさい.

6		8
7		3
2	9	4

1		3
2	0	-2
-3		-1

$\frac{1}{2}$	-2	
	0	-1
		$-\frac{1}{2}$